

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名前	舟木慶一		所属	総合情報処理センター	
職名			講師		
領域	業務ウエイト比(予定)	平成28年度 年度目標設定	業務ウエイト比(実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・学生支援	0.30	<p>共通教育科目「情報科学演習」にて、昨年同様のExcel中心の講義を行うとともに、情報処理試験ITパスポート試験の紹介を行う。専門科目「ヒューマンインターフェース」で、昨年同様の講義を行うとともに、企業の著名な研究者をお招きし、映像符号化、スバコンの最新動向などの講演会を開催する。専門科目「情報処理技術概論」で、情報処理技術者試験基本情報午後問題対策の講義を行う。合格者が1名でも増えるように努力する。また、実験IIIで、歌声の合成ならびに歌声に同期させた唇や声道の動きを実現するシステムの構築を行う。音源分離の検討を行う。さらに、WebAPIを用いた音声認識合成のシステムを構築する。大学院の情報通信論でG.718などの標準化英語ドラフトを輪読し、プログラム読みを行う。一昨年から開講している共通教育「情報処理概論」では、基本情報技術者試験午前問題程度の基本的な知識の講義を行う。</p> <p>修士2年の学生1名と学部4年の学生3名に修士論文と卒業論文の指導を行い、学会にて発表して頂く。例年通り、就職の指導を行う。</p>	0.30	<p>共通科目「情報科学演習」にて例年通りExcel中心の講義を行う。パワポで人生の目標と大学4年間の勉強計画を作成して頂き、自分の人生について考えていただいた。専門科目「ヒューマンインターフェース」では信号処理の基礎とLPC分析、音声符号化の講義を行うとともに、NTT研究所と九州大学の先生の講演を開催した。専門科目「情報処理技術概論」では午後問題の過去問を32問解いた。ストラテジやマネージメントの問題の解答も行った。共通科目「情報科学概論」では文系の学生にも理解できるように2進数から丁寧に説明し、Matlabを用いた簡単なプログラム演習、Sqliteを用いたデータベースの演習も行った。実験IIIでは20名程度の学生を6班に分け、アニメーションの作成やWebAPIによる音声認識合成システムの構築や日本語と英語の論文読みをしていただいた。</p> <p>修士2年には国際学会2件、国内学会2件の講演を行わせ、修士論文を執筆の指導を行った。就職指導も行った。</p>	
研究	0.40	<p>下記のことを行う。</p> <p>(1)スパースLPC音声分析の検討 (2)音声のF0推定の高精度化 (3)ロバスト音声認識 (4)HMM音声合成 (5)信号の時間周波数解析 (6)歌声と楽器音と重畳信号から歌声の抽出(音源分離) (7)(1)から(6)の成果を、論文誌、国際会議(ICASSP2017,EUSIPCO2017など)、国内会議(音響学会、SIPシンポジウムなど)にて発表する。 (8)時系列解析の応用として経済波、ネットワークデータなどの解析の検討をはじめめる。 (9)科学研究費:(1)-(5)で基盤(C)に申請する。 (10)音響学会九州支部の活動を行う。 (11)電子情報通信学会常任査読委員として論文の査読を行う。</p>	0.40	<p>(1)スパースLPC分析の定性的評価を行い、理論を構築した。 (2)重み付け線形予測に基づくF0推定を日本音響学会秋季研究発表会(富山大、9月)、ISCSLP(天津、10月)、アメリカ音響学会(ホノルル、11月)で発表し、さらに、スパースLPC分析を用いたF0推定の研究を行い、3月の音響学会(明治大学生田キャンパス)にて発表する。また、DNNを用いるF0推定もオープンソースを用いて研究を開始した。 (3)アメリカ音響学会(ホノルル、11月)、ならびにAPSIPA2016(濟州島、12月)にて発表した。 (4)今までの成果をSIPシンポジウムにて発表した(関西大、11月) (5)Vandermonde変換の研究をアメリカ音響学会(ホノルル、11月)にて発表した。 (6)(7)(8)文献読みのみ (9)科研費基盤Cを申請した (10)音響学会九州支部評議員として活動を行う。 (11)査読員を行う。国際会議IEEE ISCAS2017の査読も行う。 (12)APSIPA2016(濟州島、12月)にてセッション座長を行う。 (13)3月12日に那覇で開催される電子情報通信学会音声・信号処理・応用音響合同研究会の現地世話人を行う。</p>	
社会貢献	0.10	<p>下記の活動を行う。</p> <p>(1)夏休みに教員免許更新講習(声の不思議、他)を行う。 (2)オープンキャンパスで音声生成と歌声合成システムのデモを行う。 (3)昨年同様、要望があれば、出前授業を行う。</p>	0.10	<p>(1)ExcelとWebClassの講習を2コマ行った。 (2)オープンキャンパスで歌声と唇のデモンストレーションを行う。 (3)今年はなし。</p>	
管理運営	0.20	<p>(1)講義支援システムWebClassの全学普及に努める。 ①自らWebClassの講習会を行う。 ②作成したWebClassのマニュアルをさらにブラッシュアップする。 (2)情報倫理の留學生向け説明会を行う。 (3)システムの安定運用に向け、業者対応を行う。 (4)図書館のリテラシーガイドブックをブラッシュアップする。 (5)図書館のリテラシーガイドブック用に作成した動画利用マニュアルをさらにブラッシュアップする。 (6)各実習での講義ならびに演算サーバの利用者に対する支援を行う。 (7)ISMS内部監査責任者として内部監査ならびに文書の作成を行う。</p>	0.20	<p>(1)9月30日にWebClassの講習会を行う。 (2)4月と10月に説明会を行う。 (4)リテラシーガイドブックの一部修正を行う。 (7)内部監査を行う。 (8)全学委員会(大学評価センター、地域連携推進会議、学術リポジトリ運営連絡会、IT戦略室)の活動を行う。 (9)今期から理工学研究科博士前期課程委員会にも参加している。</p>	
	0.00		0.00		
計	1.00	<p>・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</p>	1.00	<p>・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</p>	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。			<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		谷口 祐治	所 属		総合情報処理センター	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.30	情報工学科専門科目、共通教育課目を担当し、セキュリティ対策を含め、ICTを活用した実践的な講義を行う。情報工学科の修士および学部卒研究生の研究を指導する。総合情報処理センター技術相談員の技術指導及び研修会を開催する。ICT活用ガイダンスを要望に応じて開催する。「インターネット社会の安全対策」というテーマで、教員免許状更新講習、高校向け出前講義を行う。			0.30	情報工学科専門科目(情報セキュリティ)、共通教育科目(情報科学演習、情報セキュリティ概論)を担当し、講義資料を全てWebサイトに公開し、ICTを活用した実践的な講義を行った。情報工学科・大学院生の研究指導を行った。総情センター技術相談員の技術指導及び研修会を行った。総合環境学副専攻の担当教員として副専攻学生への教育を行った。「インターネット社会の安全対策」というテーマで、教員免許状更新講習、高校向け出前講義等を行った。		
研究	0.20	新沖縄インターネットエクスチェンジ(OIX)として、大学教育・研究コンテンツキャッシュの研究に取り組み、県内高等教育機関と連携しインターネット技術の発展に寄与する。教育システム情報学会の渉外活性化委員としての活動を行い、学生研究発表会を開催する。			0.20	理工学研究科の修士・博士課程の学生に、コンテンツキャッシュと認証研究を指導した。教育システム情報学会の渉外活性化委員および九州・沖縄支部幹事として、沖縄地区学生研究発表会を実行委員長として開催した。		
社会 貢献	0.20	沖縄インターネット協議会(OIA)研修会を開催し、県内ネットワーク技術者との技術交流に努める。南島スクールネット研究会との連携のもとに、学校インターネットの運用技術指導を行う。琉大コミュニティキャンパス事業のサテライト(那覇市、石垣、宮古島、久米島、本島北部)教育システムを運用を行う。			0.20	沖縄県商工労働部情報産業振興課からの依頼により「沖縄クラウドオープンネットワーク技術基盤構築事業」事業推進委員会の委員として審査を行い、審査後も技術相談を行った。沖縄県教育庁のICT活用推進事業からの依頼でAIとIoTに関するセミナーを北部農林高校、沖縄工業高校で各2回実施した。琉大コミュニティキャンパス事業のサテライト(那覇市、石垣、宮古島、久米島、本島北部)教育システムを運用を支援した。		
管理 運営	0.30	新任職員・教員に対しての情報セキュリティガイダンスを講演する。琉大コミュニティキャンパス事業本部員、IR検討プロジェクト員、総合環境学副専攻教員、エコロジカルキャンパス推進委員、IT戦略室員等の活動を行う。事務情報システム、本学公式Webページ等の運用を支援し、本学の業務ICT化を推進する。H28年度10月導入の教務システムの運用支援を行う。			0.30	新任職員・教員に対しての情報セキュリティガイダンスを開講した。各種委員会活動に参加した。国立大学改革基盤強化促進費で「地域特性に根ざした特色ある研究のデータ・サイエンス基盤構築事業」要望調書を作成した。「情報の格付け基準」を加筆・更新した。入試課の入試業務のセキュリティ監査を実施した。キャンパス情報システムのテクニカル会議を主導し、導入業者との対応した。教務システムのハードウェアを新システムに組み込み、本学の業務ICT化を推進した。		
	0.00				0.00			
計	1.00				1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			